

令和3年度第1回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日 時 令和3年8月2日(月) 午後2時30分～午後3時50分
- 場 所 Home&nico ホール(市民文化会館) 2階 第1会議室
- 委 員 出席14名(澤木 徹(代理 八木 郁也)、吉岡 実(代理 久米 裕之)、安藤 和人、西部 茂夫、山内 三奈(代理 木下 淳一)、鈴木 浩示、伊藤 明輝、服部 大介、武馬 よしの、磯部 友彦、武田 篤司、近藤 良夫、稲垣 敬、野田 憲一)
欠席2名(森 一浩、小林 裕之)
- 傍聴者数 2名
- 資 料
 - 資料1-1 : 令和2年度地域公共交通に関する自己評価概要(中部様式)
 - 資料1-2 : 政策評価の評価方法
 - 参考資料 : 令和2年度江南市地域公共交通(いこまいCAR・バス)の利用状況
江南市における地域公共交通の基本的な考え方
第三者評価委員会資料(中部様式)作成の手引き
江南市地域公共交通会議設置要綱
江南市内のバス停・路線図
いこまいCAR(予約便)ご利用案内
地域公共交通について 活発で良い議論ができる会議のために。
バスのシカクにご用心

開会（午後 2 時 30 分）

○市長あいさつ

○議題

会長・副会長の選出

会長には磯部委員、副会長には武田委員を選出

○選任あいさつ

会 長 また会長を務めさせていただきます。中部大学の磯部でございます。今、交通を考えることについてはすごく悩ましい時期であります。というのは、まずは地域公共交通といっても一体どんな対策をしたらいいのかということです。実は新型コロナウイルス感染症が流行する前、数年前から、何が地域公共交通なのかという議論があります。形が変わっていくと同時に、それを誰が支えるのかという話になっていきます。新型コロナウイルス感染症がどのように収まるか分かりませんが、新しい形の社会に応じた新しい地域公共交通が必要ではないかということが盛んに言われていますので、皆さんでまた江南市に合った地域公共交通を作っていこうじゃないかと思っています。よろしくお願いします。

副会長 只今、会長からご指名いただきました、社会福祉協議会の武田でございます。微力ではございますが、磯部会長のもと、しっかりと務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○協議事項

令和 2 年度地域公共交通に関する自己評価について（資料 1 - 1、1 - 2）

会 長 まずは協議事項として「令和 2 年度地域公共交通に関する自己評価について」を事務局より説明をお願いします。

事務局 資料 1 - 1、1 - 2 に基づき説明。

会 長 ありがとうございます。毎年、自己評価という形でやられているわけですが、本来なら中部運輸局に提出する書類の形を借りて、自分達でやってみたというものです。これはどこかへ提出するわけではなく、我々の中で共有して次へいくということでございますので、どうぞご議論していただきたいと思います。まず、質問などありましたらお受けして、ご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

委 員 資料 1 - 1 の 11 ページをご覧くださいませるか。アピールポイントとして色々書いていただきました。いこまい C A R の主な利用者層は高齢者が中心ということで、今までも啓発をやっていらっしゃるかもしれませんが、なかなか 1 回では浸透しない部分もありますし、他の資料によりますと、

いこまいC A Rの登録者数は増えているにもかかわらず利用人数は伸び悩んでいるとあるので、ここに列挙している周知の機会があるなら継続的に周知していくとよいと思うのですが、その辺りの周知方法で工夫されている点や予定されている点があればお伺いできますか。

事務局 ご意見ありがとうございます。私どもは毎年、年1回程度、広報こうなんで全世帯、全市民の方に広報させていただいています。それと併せて、必要な方に必要な情報を伝えていくということが一番重要になるだろうと考えておりますので、ご指摘いただいた11ページについて、例えば、市内バス路線、路線図を配付、掲示していくと記載しておりますが、これは市防災安全課、江南警察署でチラシなどの配布、並びに市役所1階西ロビーで掲示をさせていただいています。江南市役所1階の西ロビーというのは市民サービス課があり、転入手続きをする方が訪れる場所となっております。それ以外にも、保険年金課や高齢者生きがい課、福祉課などが集約された場所がございますので、市民の方が市役所を訪れた際には必ず目が触れるような、そういったところにこういうものを掲示し、PRしていきたいと考えております。

委員 ありがとうございます。よく分かりました。先程、ご説明の中で市民の方から、若い世代へのPRをとというご指摘があったということで、それについても、特に若い方はスマートフォンを非常に使いこなされていますので、例えば、市のホームページのQRコードを比較的目につきやすいところに載せて、簡単にアクセスしていただくとか、そういった世代別の取り組みを考えてもいいのではないかと思います。

会長 色んな周知方法を考えていってください。他にありますか。

<意見なし>

会長 評価書にございますように、令和2年度の数字、実績は悪いという実績です。これは今説明がございましたし、皆様もよく分かっていらっしゃると思いますが、新型コロナウイルス感染症の関係でテレワークや休校などの時期がありましたので、その分減っているということでもあります。それが今後どうなるかということです。令和3年度も4か月経って夏休みに入って、この先どうなるか、先が見えるようで見えないという状況がありまして悩ましいところです。その辺が気がかりなところですが、何もしないわけにはいかないの、今年度のことに関してどのようにまとめていくか、皆さんのアイデアなどがあつたらぜひお話していただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

委員 いこまいC A Rの予約は、電話でしかできないのですか。

事務局 タクシーの事業者さんは、お電話のみでいこまいC A Rの予約の受付をされています。

委員 お年寄りの方は電話の方が予約しやすいと思いますが、若い世代にPRしたいのなら、QRコードなどから予約できる方が絶対に使いやすいと思

ます。電話をして予約するというのは面倒くさいです。たぶんお年寄りの方も、自分ではなく子どもやお嫁さんから予約してもらうのなら、インターネットで予約できる方が予約しやすいと思います。

また、「いこまいCAR（予約便）ご利用案内」に、前日までに予約と書いてありますが、当日のキャンセルは無理ということですか。

事務局 いこまいCARは前日までに予約していただくものです。当日に、今すぐ予約させてくださいというのはできません。ただ、体調面などどうしても緊急でキャンセルするということはあると思いますので、キャンセルについては承るということになります。

委員 利用案内には前日までの予約が必要と書いてあるので、キャンセルできないんだと思って、ちょっとまた予約しづらいかなと思います。

事務局 市民の方がいこまいCARの利用案内を読まれたときに、キャンセルというのがどうなのかというのが伝わりづらいというご意見と、若い人の、これは家族の方に頼まれるということも含めて高齢者の方が使ったとしても、QRコードがあった方が利便性が高まるというご意見ですね。タクシー事業者様とは定期的に打合せを重ねておりますので、しっかり今日のご意見などを踏まえて、今後相談していきたいと思います。ありがとうございました。

委員 資料1-1の11ページに、老人クラブ連合会の会員へチラシを2,937枚配布したと書いてありますが、今の方たちは中身を見ません。我々が会報を出したり、県から広報をもらったりしても中を見ずに捨ててしまいます。だからPRの仕方を考えていただけるとありがたいなと思います。

事務局 ご意見ありがとうございます。昨年度の実績としてチラシの配布をさせていただきました。実は、やはり体験をしていただくのが一番皆様の心に届くだろうと思いましたので、私どもとしては、できれば今年度の予定に挙げさせていただいた高齢者教室、これはこのHome&nicoホール（市民文化会館）で開く、高齢者の方にお越しいただくイベントですけれども、その折に皆様の前に立って、言葉であれチラシであれ、また、バスをご覧いただくと、そういった中で体験をしていただくのがベストだろうと考えておりました。ただ、残念ながら昨年度は新型コロナウイルス感染症の関係でこの高齢者教室そのものが中止されてしまいましたので、やむにやまれず、チラシをお配りしたという形になっております。

今年度につきましては、今のところ高齢者教室をやる見込みで考えておりますけれども、また秋に、皆様に体験いただくという公共交通を考えておりますので、しっかり高齢者の皆様にPRをしていきたいと考えております。よろしくお願ひします。

委員 先程お尋ねのいこまいCARの当日キャンセルの件ですけれども、実態としてはございます。ですから、そんなにキャンセルが珍しいということではございません。ただ、乗務員がかなり不足しておりますので、キャンセル

してもいいよとPRされてしまうと、一般のタクシーのお客様のご迷惑になってくるんです。県のデータに置き換えて言いますと、今、愛知県の実態としてタクシー事業の存続はなかなか危ないと思います。すでに東三河で、交通手段の空白地が出ています。事業者が廃業しております。江南市の皆さんや市は積極的にいこまいCARでタクシーを残していこうというシステムを取り組んでおられるので、財政的に厳しいと思いますけれども、よくやっておられるなあという風に我々でも感じます。愛知県下の中でも、空白地をできるだけ少なくしようという積極的な取り組みだと思えます。ですから、本来いこまいCARというのは空白地を潰していくという趣旨だと伺っているのですが、そういったことを踏まえながら、PRを進めていただけたらと思います。

会 長 はい、そういう趣旨だそうです。今の言葉を整理しますと、いこまいCARは予約便なので前日までに確定しておきたいということが大前提にあるということです。地域内の公共交通には一般タクシーがありますので、当日ご用事ができたときには、まずは一般タクシーをご自由に使ってくださいという話です。それとは別に、市が関与するいこまいCAR予約便というのを用意したので、うまく使い分けてくださいというのが前日予約というひとつの考え方ということです。前日までに確定していないとドライバーの確保など運行が非常に厳しいと聞いておりますので、その辺もまた、色んなPRの仕方があります。ですから、私が最初のあいさつで、地域公共交通とは何なのか、色々なものがあると言ったのはそこなんです。ただ、たった一つのシステムで完結するものではないので、そこを皆さんに理解していただいて、この場合にはこの公共交通を使ったらいいかな、別の場合はどうかな、というのがもっと分かるようなPRの仕方がいると思えます。色んなPRを皆さんで考えてみてください。

委 員 今のお話にもありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でタクシー事業は非常に厳しい状態が続いています。県内全体の直近の数字を見ても、新型コロナウイルス感染症が発生する前の半分程度に留まっています。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいくとは思いますが、なかなか収束が見えませんが、今の状態が長期化することも視野に入れなれないといけません。それだけ色んなところを考慮して、資料1-2をご覧くださいのですが、政策評価の評価方法として今は平成28年度の実績を基準値としていますが、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、基準値をどのようにしたらいいか、もう少し考えてもいいかなと思っております。事務局の方で、基準値が平成28年度のままでもいいかどうか、見直しを検討したことはないと思いますけれども、その辺りの考えがあればお願いできますでしょうか。

事務局 政策評価で平成28年度を基準としてすべて評価させていただいているのは、私どもが「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」を平成29

年度の末に策定し、その時点で直近で計れた平成 28 年度の数字を基に維持確保するという方針を打ち出しているためでございます。この「基本的な考え方」は 10 年間という長い期間の計画ではございますが、市としては、時点を定めたこの基準に照らして、どういう風になっているかというところを考えていかねばならないだろうと考えておりますので、現時点では平成 28 年度を基準とするというところは変わらないと考えております。

会 長 江南市の交通政策、お金の出し方という立場から行くと、いこまいCARと路線バス、名鉄バスに補助を出している中で評価していくので、この形になります。さらに、ほかに何か出てきましたらまた色々考えていくというのが理想だと思います。そして、また状況がどんどん変わってきて、色んな見直しが必要であれば、この「基本的な考え方」の見直しを諮る。そのときにひとつの参考となるのが、地域公共交通計画という枠組みになります。これは、努力義務的に作ってほしいと国から宣伝していると思いますし、愛知県内でも完成している自治体や現在進行形で作っている自治体もございますので、参考にさせていただきたいと思います。その場合のひとつのお願いが、まず地域の交通の、すべてというのが理想ですけど、それに近いことを、行政側が把握しているということです。それに関して地域公共交通会議で意見交換していく形になります。すべての交通というのは、先程申し上げた名鉄バス、一般タクシー、いこまいCARだけではありません。例えば、企業の送迎バスや学校の送迎バス、鉄道など他にも色んなものが関係しています。それらも全部含めて色んな人の動きというのを把握して、どういった状態が望ましくて、それに今何が足りないかを確認してやっていく、そういう形にも発展していくといいと思います。また時期がきたら改めてみてください。お願いします。

この自己評価の中身については、この会議で、間違った評価をしていないということをお認めいただきたいと思います。異議なしということでしょうか。

<異議なし>

会 長 ありがとうございます。それではまた、今年度の評価を見ていって、ここに出てきた課題をクリアするために次に向かって進めていっていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○その他

会 長 以上で、予定していた議題を終了させていただきます。次第のその他に入ります。事務局から何かありましたらお願いします。

事務局 江南市内にあるバス停留所安全性確保対策の実施状況について、名鉄バス株式会社様よりご説明していただきます。まず、この内容について事務局

より説明させていただきます。令和2年10月に、愛知県バス停留所安全性確保合同検討会が設立され、11月に、尾張部会が開催されました。これは、平成30年に神奈川県で、市営バスがバス停留所に停車する際の停車位置が横断歩道にかかる状態となっており、その中で、バスから降車した小学生が横断歩道を渡っていたところ停車しているバスの陰に隠れていたため対向車にはねられ亡くなった事故を受け、バスがバス停留所に停車した際に横断歩道もしくは交差点から距離が近い、またはバスの車体が横断歩道もしくは交差点にかかる停留所などについて、国が全国的に実態調査及び安全性対策に講じるよう要請して設立されたものです。合同検討会の目的は、バス停の安全性の確保とバス停車時における事故の可能性を下げることです。

バス事業者、江南市の場合には名鉄バス株式会社が市内のすべてのバス停留所を調査し、安全対策が必要な停留所については、国が定めた基準に基づき、優先度の高い順にA B Cの3段階にランク付けして抽出しています。その結果、江南市における安全対策が必要な停留所は現在、5カ所あります。そのうち、Bランク、優先度としては2番目のバス停留所は、宮田口、上奈良南、赤童子の3カ所です。次に、Cランク、優先度としては3番目のバス停留所は、後飛保、古知野南小学校の2カ所です。では、これらのバス停留所の安全性確保対策の実施状況について、名鉄バス株式会社様よりご説明いただきます。よろしくお願いたします。

委 員 安全対策が必要な江南市内のバス停留所に関しまして、現在、宮田口の停留所は移設する方向で調整がつきつつある状態でございます。ほかの停留所に関しましては調整を進めておりまして、調整がついたところから順次話を進めていきたいと思っております。以上です。

会 長 ありがとうございます。これについて、皆さん、気になることはありませんか。

<意見なし>

会 長 どちらにしても、バス停の位置を変えたからといって安全性が急激に上がるわけではございません。やはり皆さんが気を付けないと、見えないところから誰が出てくるか分かりませんというのは基本中の基本です。歩行者であろうが、自動車であろうが、ともに気を付けなければいけない。こういった安全対策を進めると同時に、基本的な安全は皆さんで守るしかないと思っております。よろしくお願いたします。

他になければ、これにて終了させていただきます。

閉会（午後3時50分）